

《担当者名》○院長/斎藤 隆史 看護師/畑 了子

【概 要】

臨床での使用済み器具の再生処理について、国際水準のスタンダードな知識と技術を学ぶ。日本の歯科医療の問題点を理解し、歯科医療施設において感染制御や医療安全の推進役として活躍できる歯科衛生士になるよう実習を行う。

【学修目標】

科学的な根拠に基づいて判断し行動できるようになる。

人の命を守る医療人としての自覚を持つ。

講義・見学・実習を通して以下の目標を達成する。

1. 再生処理の正しい手順がわかる
2. 洗浄の基本：汚染の種類と洗浄剤の特性を知りより効果的な洗浄方法がわかる
3. 乾燥の重要性を理解する
4. 器具の点検とメンテナンスの必要性がわかる
5. 滅菌物の包装について学ぶ
6. 滅菌物の保管と取り扱い方法を学ぶ
7. 高圧蒸気滅菌器の性能と正しい使用方法を理解する
8. 消毒：ウォッシャーディスインフェクター（WD）による熱水消毒について学ぶ
9. 滅菌保証について学ぶ
10. 適切な防護具を正しく使用できるようになる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	◎ 〈再生処理工程〉 ◎ 〈洗浄〉 ◎ 〈点検とメンテナンス〉 ◎ 〈滅菌物の包装〉 ◎ 〈滅菌の有効期限〉 ◎ 〈高圧蒸気滅菌法〉 ◎ 〈熱水消毒〉 ◎ 〈滅菌保証〉 ◎ 〈防護具〉 ◎ 〈滅菌技師/士の資格〉	●再生処理の正しい手順を知る ●汚染ごとの洗浄剤と洗浄方法を知る ●アミドブラック10B染色で残留汚染を目視確認する ●すすぎの難しさを実感する ●乾燥の重要性3つを理解する ●点検項目と点検方法を知る ●包装材の種類と注意事項を知る ●滅菌物の正しい保管方法と有効期限を知る ●高圧蒸気滅菌器の3つのクラス分類と性能の違いおよび正しい使用方法を知る ●WDによる熱水消毒を学ぶ ●Ao値を理解する ●滅菌保証に必要な事項を知る ●個人防護具の使用目的を理解し正しい着脱ができるようになる ●専門家として社会的に認められた資格であることを理解しその役割を知る	斎藤 隆史 畑 了子

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

◇実習態度、自発的な質問、意見、質問されたことへの回答、実習個人目標の達成度で評価する。

【備考】

中央滅菌材料室内ではカーディガンを着用しない。（廊下の移動時は可）

マスク、帽子、ゴーグルを持参する。

筆記用具、マーカーや色鉛筆等を持参する。

【学修の準備】

スポルディングの分類を予習してくること。

自分の受診経験や臨床実習等で気づいたことや疑問に思うことをまとめてくる。

実習の個人目標を設定する。